

「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 27日

仕事の内容	日本赤十字社協力事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 地域福祉の推進

(総合計画書 65 ページ)

予算名	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業 10	福祉推進管理事務費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 赤十字活動資金(社資)				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) → 社資実績額			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 日本赤十字社の理念や事業を周知するとともに、財政基盤の強化を図る。				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) → 社資実績額/社資募集目標額			
	③ そのために何をしましたか。 自治会の協力を得て、赤十字活動資金(社資)の募集活動を行った。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) → 協力依頼をした自治会数			

2 指標の推移			単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標
	対象指標	①の数値	円	849,755	857,670	785,030	3,227,000	/
	成果指標	②の数値	%	26.3	26.6	24.3	100	/
	目 標	②の目標値	%	社資実績額を社資募集目標額に近づける。				
		目標値設定の考え方						
活動指標	③の数値	団体	74	73	72	73	/	

3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	0	0	0	
		特定財源	円	0	0	0	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人				
		所要人数(再任用)	人	0.1	0.1	0.1	
職員人件費(再任用以外)		円					
職員人件費(再任用)		円	299,900	297,400	302,000		
事業費+人件費		円	299,900	297,400	302,000		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 日本赤十字社は、昭和27年に制定された「日本赤十字社法」に基づき設立された特殊法人であり、その定款に、市の区域に「地区」を置き、地方名を冠称することとなっている。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 なし	

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について なし	

仕 事 の 内 容	日本赤十字社協力事業					
担当部署・課長名	福祉部福祉推進	課	庶務	係	課長名	嶋田 淳

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取り組んだ	取組手法 ③ ⑥ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体:) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。			
7 課題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	(2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。		
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。